

「学びの総合窓口」運営業務委託企画提案募集に係る説明会 質疑応答

	箇所	質問	回答
1	募集要項 選考審査委員会の日時	プレゼンの時間は、いつ、どのように決まるのか。	プレゼンの日時は、2月25日（火）の募集締め切り後、応募者に対して、概ね1週間程度で通知する予定です。現在のところ、3月5日（水）午後を予定しています。
2	募集要項 選考審査委員会の出席者	プレゼンは何人まで出席してよいのか。関連会社や再委託先も呼んでよいのか。	オンラインによるプレゼンのため、人数制限は設けない予定ですが、接続台数は1者あたり3台までとします。 関連会社や再委託先も必要であれば、同席は可能とします。
3	募集要項 再委託	高い効果が認められる場合は、再委託も可能とのことだが、どのような例があるのか。	自社以外の専門技術を活用するなど、本委託業務の遂行に効果的だと判断する場合があります。
4	募集要項 契約	契約の日付はいつを予定しているのか。	令和7年4月1日を想定しています。
5	様式第4号 見積書	記載例とあるが、自社のフォーマットでの提出も可能か。	可能です。ただし、区分については、様式第4号に準じてください。
6	仕様書 学びの総合窓口 職員の配置	職員を常駐をさせる必要はないとのことだが、さわやかちば県民プラザには、人を配置しなくてよいということか。	仕様書の別紙2のイメージ図のとおり、電話対応等の業務は、さわやかちば県民プラザの職員が行うので、窓口担当者を配置（常駐）させる必要はありません。但し、配置を希望する場合は、協議の上可能です。
7	仕様書 学びの総合窓口 個別相談回数	年間400回とあるが、達成できない場合などはどうなるのか。	年間400回程度の相談が実施できなかった場合は、支払い額の減額等の対応となりますので、件数を確保できるよう、プッシュ型の広報や出張型の相談方法など、効果的な手法を提案してください。
8	仕様書 学びの総合窓口 伴走型の支援	同一人物が複数回、相談に来てもよいとのことだが、一人に対しての年間の相談件数の上限などはあるのか。	上限は設けない予定ですが、相談件数によって調整を図る可能性があります。
9	仕様書 学びの総合窓口 キャリアコンサルタントの手配	同じ相談者には、毎回、同一のキャリアコンサルタントを手配しなくてよいのか。	相談希望日に対応できる者であれば、同一のキャリアコンサルタントでなくとも構いません。
10	仕様書 学びの総合窓口 相談内容の記録	記録はどのように行っていくのか。	相談記録の内容は、相談者の基本情報、相談理由、希望するサポート、今後の意向などであり、データによる提供を想定していますが、詳細については、協議の上決定します。
11	仕様書 学びの総合窓口 チラシ	具体的にはどのような広報をイメージしているのか。	県内の市町村や公民館、図書館など約500施設へのチラシ配布を想定していますが、その他効果的な手法があれば提案してください。
12	仕様書 学びの総合窓口 インターネット・SNSの広報	具体的にはどのような広報をイメージしているのか。	今年度は、LINEやインスタグラムなどでの広告を行いました。県内の希望者に情報が届く効果的な手法を提案してください。
13	仕様書 学びの総合窓口 学びの情報提供	具体的にはどのような相手をイメージしているのか。	大学・専門学校などの教育機関や各地域の商工会などを想定していますが、その他効果的な連携先があれば提案してください。
14	仕様書 リカレント講座 内容	具体的にはどのような講座の内容をイメージしているか。	今年度は、医療・福祉、建設など、技術革新や需要拡大等により人材確保が課題であるとともに成長が予想される分野や業界を取り上げましたが、その他効果的なテーマがあれば提案してください。
15	仕様書 リカレント講座 アーカイブ	具体的にはどのような方法をイメージしているのか。	今年度は、Zoomの録画機能とLINE配信にて行いました。その他効果的な配信方法があれば提案してください。